

お元気ですか日本共産党村議の

川崎あつ子です

(かわさき 篤子)



2011年 7月 17日 52

ご相談はお気軽にお寄せください

〒319-1106 東海村白方284-1 TEL/FAX 029-282-0229

E-mail atsuko-k@car.ocn.ne.jp



なでしこ

大震災から4ヵ月が立ちました。時折長く揺れる地震があるものの回数は、だいぶ少なくなったようです。

いよいよ夏本番です。猛暑と節電が言われていますが、体の調子に合わ

せた節電を心がけていこうと思います。

稼働したら定検までフル運転の、原発がもたらしてきた24時間型社会は、見直す必要があるのではないのでしょうか。



一般質問から

白方中央生活道路整備の完成は

川崎 マンホールのふたと路面の段差や破損で「怖い思いをしている」「敷いた砂利に自転車のタイヤが取られて転びそうになった」などの声があります。整備の見通し、完成時期はいつごろか。

建設水道部長 ここには公共下水道の幹線管口径800ミリが埋設されており、今回の地震で液状化により、下水管及びマンホールに起伏や沈下の被害が出ています。たび重なる余震により、今でも道路に陥没や沈下が起きているため、現在は応急措置として碎石にて補修を行い、管理を行っております。

下水道の被災箇所復旧につきましては、国の災害復旧国庫補助を充てて整備する考えです。その査定が5月下旬に終了し、7億6,000万の国庫補助対象額が認められました。現在、工事発注に向け、設計を行っております。この地区は被災箇所も集中しております。

交通どめ等で住民の皆様にご迷惑がかからないように工区割りをし、順次工事を発注します。

また、本復旧までの道路の巡回を強化し、段差等の大きい箇所は随時補修を行いながら管理したい。(現在は、アスファルトで仮復旧しました)発注の時期は8月頃です。工事は年度内の完成を目指しています。



サーベイメーター貸し出しては

放射線量を測るサーベイメーターが、各コミセンに配備されています。

毎月、茨城県原子力協議会から検査員が来て計測器の点検をしています。年に1度、購入もとで較正を行ない、経費は5万円です。

JCO事故をきっかけに配備されたものですが、ほとんど使う機会はありませんでした。

購入価格は10万円ですが、毎年較正をうけるため、購入費用より高額になってしまうようです。

「購入しても、較正によって買うくらいのお金がかかってしまうのでは、個人で購入は大変だ。コミセン配備のサーベイメーターを、希望者に貸し出すなど有効活用したらいいのではないか」との意見が出されています。村は、扱い方の教育など行い、希望者に貸し出してはいいのではないのでしょうか。



原発ゼロをめざす7.2緊急集会に参加

全国から2万人が参加した「原発ゼロをめざす7.2緊急行動」に青空の下、娘を連れて参加しました。「私たちもこの東海村に住んで居られなくならないように、頑張ってください」との声が寄せられています。実現にむけて力を合わせます。



この間村長は、「東海第2原発から30キロ圏内に100万人、避難できないなら原発は持つべきではない」と発言しています。

バックナンバーは「川崎あつ子」検索でお読みいただけます

高速料 無料に パート2

6月20日から、常磐高速道路が、水戸以北の被災者を対象に無料化されました。

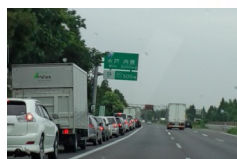
村が発行する「被災証明書」か「り災証明書」の提示が必要です。

私も早速初日に利用しましたが、本村発行の証明書は村長印が黒色ですので、「これコピーしませんでしたか？」と係員に言われ、対象外扱いを受けました。(後ほど返金されました)

用紙が部分的に黄緑色で特殊ですので原本に相違ありません。「同様の事が起きているのではないか」と急いで、村に連絡を取りました。

村は「きちんと説明していたはずなのに、徹底されなかったようだ」と厳重注意を申し入れたそうです。

やはり同じ事がおきていました。東北のお葬式の参列のために利用したところ「コピーしませんでしたか。今回は許します」と言われた方がいたそうです。みなさんは、いかがでしたか。初めてのことで、各自治体が発行する用紙で違いがあるため、係員はかなり混乱しているようです。水戸インターの出口は、1キロ先の案内表示板手前から、もう渋滞でした。



7月3日 大宮・那珂市から引継ぎ



村からの賛同ペナント

核兵器のない平和な世界へ 行進

5月8日、北海道礼文島を出発した原水爆禁止国民平和大行進。7月3日東海村に引継がれ、4日ひたちなか市に向けて元気に行進しました。

今年8月5~7日、村は初めて広島市主催の平和記念式典に、各小中学校の代表8名を「平和大使」として派遣します。教育長を団長に、教育委員会指導室と東海中学校教諭の2名の先生が引率されます。全校で原爆の子「貞子の像」に捧げる折り鶴

づくりをしています。平和教育の大きな前進であり、高く評価できるものです。昨年、核廃絶の声が大きくなる中で、私は「今度こそ大使派遣を」と議会で取り上げました。また「被爆者の核廃絶への切実な思い」を市町村につなぎ、毎年ねばり強く続けてきているみなさんの運動が実りました。子どもたちが元気に参加し、核兵器のない平和な世界にむけた思いを、共有して欲しいと思います。



4日 ひたちなか市に向け行進